

認知症における「徘徊」の言い換えについて

萩原 真

はじめに

認知症の発症には、生まれ持った遺伝的要因の他に、ライフスタイル、すなわち、食生活、睡眠、運動などによる影響も大きい^{1) 2)}。また、心疾患、糖尿病、肥満、歯周病などの疾患に罹患していると発症リスクが高まる¹⁻³⁾。近年では、腸内細菌叢との関連性も報告されており⁴⁾、認知症の発症には様々なファクター（因子）が関与していると考えられる。

認知症は、日常生活において様々な支障をきたしてしまう病気であり、認知症の人が外出して行方不明になってしまうこともある。警察に届け出のあった、認知症または認知症の疑いのある行方不明者数は、2012年から増え続け、2020年は17,565人で、2012年の約1.8倍となっている（図）^{5) 6)}。認知症の人が行方不明になる原因に、認知症における認知機能の低下によってもたらされる行動のうち「徘徊」と呼ばれているものがあるが、近年、この「徘徊」という単語について言い換えを行っている自治体が増えている。

認知症における「徘徊」の言い換え

認知症は、かつては痴呆と呼ばれていた。辞書では、「痴」は、頭の働きがにぶい、知恵が足りない、ぬけている、おろかななどを意味する⁷⁻⁹⁾。また、「呆」は、おろか、あきれ、あつけにとられるなどという意味がある⁷⁻⁹⁾。厚生労働省の「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書では、「痴呆」は「あほう・ばか」と通ずるものであり、侮蔑的な表現であるとされ、2004年に、成人に起こる認知（知能）の障害であるという意味合いで、「認知症」と言い換えることになった¹⁰⁾。

近年、この認知症の症状よりもたらされる行動を表す「徘徊」という単語について、言い換えを行っている自治体が増えてきている。「徘徊」には、意味なく歩き回ることという意味がある。しかし、認知症の人にとっては、意味なく歩き回っているわけではなく、目的や考えなどがあって歩き回っているが、認知機能の低下によって、

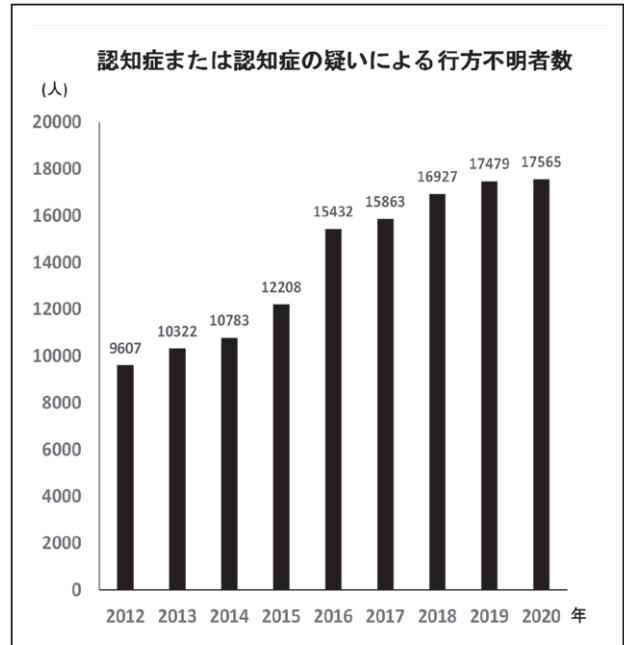


図 認知症または認知症の疑いによって警察に届け出のあった行方不明者数（警察庁ホームページより作成）

目的を達することができない状態であると考えられるようになってきている。つまり、意味なく歩き回るということを意味する「徘徊」は、実態に合っていないのではないかとされつつある。

愛知県大府市、東京都国立市、福岡県大牟田市、新潟県糸魚川市、兵庫県などの自治体では、「徘徊」の使用について言い換えを行っている。愛知県大府市を例にすると、「徘徊」を「ひとり歩き」や「ひとり歩き中に道に迷う」などと言い換えている¹¹⁾。大府市の言い換えの例について挙げる。

愛知県大府市、「徘徊」の言い換え例（大府市ホームページより）¹¹⁾

- 「徘徊」「徘徊する」「徘徊中の事故」→「ひとり歩き」「外出中に行方不明になる」「ひとり歩き中の事故」等
- 「徘徊高齢者」→「ひとり歩き高齢者」または「行方不明のなる恐れのある認知症高齢者」等
- 「認知症徘徊搜索模擬訓練」→「認知症行方不明者搜索模擬訓練」

はぎわら まこと
〒950-8680新潟県新潟市東区海老ヶ瀬471
新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科
hagimako@unii.ac.jp

○「徘徊高齢者家族支援サービス」→「認知症高齢者見守り・捜索支援サービス」

愛知県大府市は、上記は例であり、ふさわしい表現がない場合は、「ひとり歩き」への言い換えで統一としている。同市では、こうした表現は、認知症患者本人やその家族に配慮したものであり、法令等に定める場合を除き、「徘徊」という表現は原則使用しないとしている¹¹⁾。その一方で、認知症の行方不明者の捜索の際には、「徘徊」のほうが行方不明者だとして緊急性が伝わりやすいのではないかという意見もある。ただ単に、「ひとり歩き高齢者」だけでは、その高齢者が認知症であるかがわかりづらいような印象がある。認知症であることがわかるように、「認知症のひとり歩き高齢者」などと言った方が、行方不明になる恐れがある場合や行方不明者捜索の際には緊急性が伝わりやすいような気もする。新潟県糸魚川市のホームページでは、「徘徊」を「ひとり歩き」と表現するとあるが、まだ言葉が定着していないためか「ひとり歩き（はいかい）」と記載されている¹²⁾。

私は、国語の専門家ではないが、国語の辞書には、ひとりで歩くという意味を表す「独歩」という単語があるので、私なりに「独歩高齢者」というのはどうかと考えたりもした。また、ひとりで迷うという意味で、「独迷」という造語を作って、「独迷高齢者」はどうかなどと自分なりに考えたりもした。今後も、「徘徊」という表現の是非や「徘徊」に替わる新しい言い方や表現について、議論されていくことになるであろう。

文献

- 1) Ferrari C, Sorbi S. The complexity of Alzheimer's disease : an evolving puzzle. *Physiol Rev.* 2021 ; 101 : 1047-1081.
- 2) Dominguez LJ, Veronese N, Vernuccio L, et al. Nutrition, Physical Activity, and Other Lifestyle Factors in the Prevention of Cognitive Decline and Dementia. *Nutrients.* 2021 ; 13.
- 3) Ishida N, Ishihara Y, Ishida K, et al. Periodontitis induced by bacterial infection exacerbates features of Alzheimer's disease in transgenic mice. *NPJ Aging Mech Dis.* 2017 ; 3 : 15.
- 4) Saji N, Murotani K, Hisada T, et al. The relationship between the gut microbiome and mild cognitive impairment in patients without dementia : a cross-sectional study conducted in Japan. *Sci Rep.* 2019 ; 9 : 19227.
- 5) 令和2年における行方不明者の状況(警察庁)<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/R02yukuefumeisha.pdf>.
- 6) 行方不明者数の推移(警察庁) https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/fumei/R01yukuefumeisha_zuhyou.pdf.
- 7) 精選版 日本国語大辞典(小学館) .
- 8) デジタル大辞泉(小学館) .
- 9) 漢語林(大修館書店) .
- 10) 「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/12/s1224-17.html>. 2004.
- 11) 大府市ホームページ(2022年1月20日閲覧) <https://www.city.obu.aichi.jp/kenko/koureishashien/ninchisho/1004903.html#:~:text=%E5%B9%B3%E6%88%9029%E5%B9%B412%E6%9C%88>.
- 12) 糸魚川市ホームページ(2022年1月20日閲覧) <https://www.city.itoigawa.lg.jp/5559.htm>.